

<b>教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査</b>				重点区分	重点	実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	----	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	3 産業・仕事づくり	基本施策	(9) 観光交流	施策	⑦ 通年観光の推進	
------------------	------	------------	------	----------	----	-----------	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	3 文化	施策	1 文化遺産の整備・活用	取組方針	(1) 文化遺産と周辺環境が一体となった整備事業を計画的に推進し、新たな観光客の誘致や文化遺産に係る市民活動を促進します。		
	成果指標名	文化財の保護と活用に関する一般市民の割合	計画策定時 現状値	令和3年度 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
			一般市民 33.9%	一般市民 35.2%	一般市民 35.9%	一般市民 36.9%	一般市民 37.9%	

1 事務事業の内容	事務事業名	大悲山石仏保存修理事業	担当課	文化財課	実施方法	直営
	事業の目的	国史跡薬師堂石仏阿彌陀堂石仏・観音堂石仏の保存と活用を図るため、保存環境の改善を行う。				
	見込まれる成果	国史跡の適切な保存が実施されるとともに、史跡を活用した文化的観光、地域学習の促進、地域文化の醸成が図られる。				
<small>右に「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載</small>						

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	858	14,762	6,300	0	
	財源内訳	国庫支出金	0	6,820	3,150	
		県支出金				
		地方債		5,100	2,300	
		その他				
一般財源	858	2,842	850	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	<事業スケジュール> 令和4年度 観音堂石仏崖対策工事  ① 薬師堂石仏・阿彌陀堂石仏環境測定調査 ※国庫補助金の確保が立たず、指導委員会の開催、観音堂石仏崖対策工事未実施。		
	新型コロナウイルス感染症の影響	A	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
		観音堂崖対策工事	1件	0件
事務事業の成果(活動)指標達成度	D	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施		

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	B	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
		事業の方向性	A	理由 国庫補助金の確保がたらず、予定していた観音堂石仏崖対策工事等が実施できなかった。令和4年度に補助金等の財源確保を行い、適切に実施していく。また、令和4年福島県沖地震による被害が発生し、復旧工事や将来的な災害対策も含め、整備の着実な進捗とともに、他の文化遺産との連携した事業や市民団体や他部署との連携を図り、市民の文化財の価値の周知を図る。

<b>教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査</b>				重点区分	重点	実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	----	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	3 産業・仕事づくり	基本施策	(9) 観光交流	施策	⑦ 通年観光の推進	
------------------	------	------------	------	----------	----	-----------	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	3 文化	施策	1 文化遺産の整備・活用	取組方針	(1) 文化遺産と周辺環境が一体となった整備事業を計画的に推進し、新たな観光客の誘致や文化遺産に係る市民活動を促進します。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	文化財の保護と活用について「満足」「やや満足」と回答する一般市民の割合		一般市民 33.9%	一般市民 35.2%	一般市民 35.9%	一般市民 36.9%	一般市民 37.9%	

1 事務事業の内容	事務事業名	浦尻貝塚史跡整備事業	担当課	文化財課	実施方法	直営
	事業の目的	浦尻貝塚の保存と活用を図るため、市民検討会を開催するとともに、整備計画を定めるための発掘調査を実施する。また、調査成果をまとめた調査報告書を刊行する。				
	見込まれる成果	国史跡の適切な保存が実施されるとともに、史跡を活用した文化的観光、地域学習の促進、地域文化の醸成が図られる。				

右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額	
	事業費(千円)	59,045	257,635	105,337	0
	国庫支出金	29,095	70,895	52,668	0
	財源内訳				
	地方債	25,700	171,600	44,300	
	その他				
一般財源	4,250	15,140	8,369	0	

3 事務事業の実績	事務事業内容	<事業スケジュール> 令和3年度 貝層展示施設工事、ガイダンス施設・公園整備実施設計 令和4年度 公園整備工事  ① 市民検討会の開催 2回 ② 浦尻貝塚整備検討委員会の開催 2回 ③ 貝層展示施設建設工事 建築面積33㎡(令和4年度繰越) 工事期間 令和3年11月～令和4年5月 ④ 貝層剥ぎ取り業務 ⑤ 指定地外用地取得 28㎡ ⑥ ガイダンス施設・公園整備実施設計(令和4年度繰越)		
	新型コロナウイルス感染症の影響	B,C	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
		貝層展示施設建設	1件	0件
事務事業の成果(活動)指標達成度	C	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施		

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか?(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか? A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	B	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか? A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
	事業の方向性	A	理由	A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了  令和3年度は文化庁の協議に期間を要し、貝層展示施設建築工事、史跡公園等実施設計を繰越したが、令和5年度の一部供用に向けて、全体的な事業調整が図られている。今後は整備基本計画ならびに歴史文化基本構想に基づき、整備の着実な進捗とともに他の文化遺産との連携した事業や市民団体や他部署との連携を図り、市民の文化財の価値の周知を図る。

<b>教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査</b>				重点区分		実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	--	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	3 産業・仕事づくり	基本施策	(9) 観光交流	施策	⑦ 通年観光の推進	
------------------	------	------------	------	----------	----	-----------	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	3 文化	施策	1 文化遺産の整備・活用	取組方針	(1) 文化遺産と周辺環境が一体となった整備事業を計画的に推進し、新たな観光客の誘致や文化遺産に係る市民活動を促進します。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	文化財の保護と活用について「満足」「やや満足」と回答する一般市民の割合		一般市民 33.9%	一般市民 35.2%	一般市民 35.9%	一般市民 36.9%	一般市民 37.9%	

1 事務事業の内容	事務事業名	泉官衙遺跡史跡整備事業	担当課	文化財課	実施方法	直営
	事業の目的	国指定史跡泉官衙遺跡の保存と活用を図るため、史跡用地の公有化と発掘調査を実施したうえで、整備基本計画の策定を行う。				
	見込まれる成果	国史跡の適切な保存が実施されるとともに、史跡を活用した文化的観光、地域学習の促進、地域文化の醸成が図られる。				

右上「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額	
	事業費(千円)	21,272	69,793	329,640	
	国庫支出金	5,519	8,695	80,220	
	県支出金				
	地方債	9,100	52,800	236,940	
	その他				
一般財源	6,653	8,298	12,480	0	

3 事務事業の実績	事務事業内容	<事業スケジュール> 令和3年度 整備基本設計 令和4年度 整備実施設計 ① 泉官衙遺跡保存整備指導委員会の開催 2回 ② 整備基本設計 ③ 泉官衙遺跡を楽しむ会の開催 1回 ④ 史跡用地の取得 119㎡ ⑤ 付替道路(市道)実施設計		
	新型コロナウイルス感染症の影響	B,C	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
		基本設計作成	1件	1件
事務事業の成果(活動)指標達成度	B	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施		

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	B	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
	事業の方向性	A	理由	A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了  令和3年度は史跡用地の買収、計画策定のための整備基本設計、市道付替工事実施設計の作成を行い、文化庁の復元検討委員会の審査を受けるなど、着実な進捗がみられた。今後は整備基本計画ならびに歴史文化基本構想に基づき、他の文化遺産との連携した事業や市民団体や他部署との連携を図り、市民の文化財の価値の周知を図る。

<b>教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査</b>				重点区分		実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	--	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑦生涯学習の充実	
------------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	3 文化	施策	1 文化遺産の整備・活用	取組方針	(1) 文化遺産と周辺環境が一体となった整備事業を計画的に推進し、新たな観光客の誘致や文化遺産に係る市民活動を促進します。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	文化財の保護と活用について「満足」「やや満足」と回答する一般市民の割合		一般市民 33.9%	一般市民 35.2%	一般市民 35.9%	一般市民 36.9%	一般市民 37.9%	

1 事務事業の内容	事務事業名	市内遺跡発掘調査事業		担当課	文化財課		実施方法	直営
	事業の目的	埋蔵文化財の適切な保護を図るため、市内各種開発に係る発掘調査、保存活用方針を定めるための発掘調査を実施する。また、調査成果をまとめた調査報告書を刊行する。						
	見込まれる成果	各種開発事業に対する埋蔵文化財の保護を適切に実施するとともに国指定史跡等の保存活用方針を定めるに必要な基礎資料を得る。 また、広く調査成果を公開し、文化財の周知を図る。						

右上「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額	
	事業費(千円)	48,106	36,404	46,000	
	財源内訳				
	国庫支出金	22,612	17,515	22,600	
	県支出金				
	地方債				
その他					
一般財源	25,494	18,889	23,400	0	

3 事務事業の実績	事務事業内容	①保存目的の調査 真野古墳群A地区 出土遺物再調査 ②緊急開発目的の調査 市内各種開発等に係る試掘調査・発掘調査 ・試掘調査 19遺跡 調査面積 1,240㎡ ・出土遺物整理調査 梨木西館跡(原町区)ほか ③調査報告書刊行 令和2年度実施調査報告書印刷製本 300部		
	新型コロナウイルス感染症の影響	A	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	事務事業の成果(活動)指標達成度	B	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施	

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	B	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
	事業の方向性	A	理由	埋蔵文化財の適切な保護と各種開発計画との調整が図られている。今後は博物館での出土品の展示やインターネットを用いた調査報告書の公開等を進め、市民に調査成果を周知する取り組みを推進していく。

<b>教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査</b>				重点区分		実施区分	拡充
-------------------------------------	--	--	--	------	--	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑦生涯学習の充実	
------------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	3 文化	施策	2 ふるさと教育の充実	取組方針	(1) 子どもから大人までふるさとの自然、歴史や文化の理解を深める学習機会の提供に努めます。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	博物館の利用者数		13,308人	8,426人	13,630人	13,740人	13,850人	
	郷土を愛する心を育む教育に「満足」「やや満足」と回答する一般市民の割合		一般市民 21.7%	一般市民 22.3%	一般市民 26.7%	一般市民 29.2%	一般市民 31.7%	

1 事務事業の内容	事務事業名	博物館企画展示事業		担当課	文化財課	実施方法	直営
				事業期間	平成 27 年度 ~ 令和 年度	その他の内容	
	事業の目的	自然・考古・歴史・民俗・野馬追の各分野に関する調査研究の成果を展示公開する。					
	見込まれる成果	学校教育や生涯学習への学習機会の提供を行い、市民文化の向上に資する。					

右上「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載

学校や市民への学習機会の提供を積極的に行うため、本市の自然、歴史文化の特徴や社会的なテーマについて、さらに充実した内容の企画展を開催する。

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	1,016	1,314	2,500		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源	1,016	1,314	2,500	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	南相馬市博物館での企画展開催 4回 ・「南相馬の震災10年」展 令和3年3月～5月 ・「受け継がれる伝統の力 相馬野馬追」展 7月～9月 ・「中村藩と近代のはじまり」展 11月～令和4年1月 ・「やってきました！猫展」展 2月～4月		
	新型コロナウイルス感染症の影響	B、C	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
		企画展観覧者数	7,680人	3,393人

事務事業の成果(活動)指標達成度 D 令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績  
A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
		事業の方向性	B	理由 事業を魅力あるものにするため、利用者アンケートによりテーマのニーズを把握したり、学芸員の調査研究や専門性に基づいた各分野の企画展を開催する。

現状のまま継続  
改善しながら継続  
事業規模拡大  
事業規模縮小  
事業廃止・完了

<b>教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査</b>				重点区分		実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	--	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策 (3)生涯学習・スポーツ	施策	⑦生涯学習の充実		
------------------	------	----------	-------------------	----	----------	--	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	3 文化	施策	2 ふるさと教育の充実	取組方針	(1) 子どもから大人までふるさとの自然、歴史や文化の理解を深める学習機会の提供に努めます。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	【参考】令和2年度 目標値
	博物館の利用者数		13,308人	8,426人	13,630人	13,740人	13,850人	
	郷土を愛する心を育む教育に「満足」「やや満足」と回答する一般市民の割合		一般市民 21.7%	一般市民 22.3%	一般市民 26.7%	一般市民 29.2%	一般市民 31.7%	

1 事務事業の内容	事務事業名	博物館学芸調査事業		担当課	文化財課		実施方法	直営
	事業の目的	展示会を開催するため、自然・考古・歴史・民俗・野馬追の各分野に関する調査研究及び資料整理等を実施する。						
	見込まれる成果	企画展示事業や体験学習・講座事業など博物館事業の充実につながる。						

右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	1,561	1,561	2,500		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源	1,561	1,561	2,500	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災にかかる資料・情報収集</li> <li>東日本大震災と野馬追</li> <li>野馬追絵画の調査</li> <li>東日本大震災後の生物(小高の自然)調査</li> <li>希少生物の生息地調査</li> <li>野生動物の生態調査及び剥製取得(寄贈)</li> <li>民俗資料の整理と調査</li> <li>「浜下り」の映像記録制作</li> <li>相双地方の焼き物調査</li> <li>歴史資料の整理と調査</li> <li>戦争体験者からの聞き取り調査</li> <li>相双地域の郷土食調査</li> </ul>		
	新型コロナウイルス感染症の影響	C	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	事務事業の成果(活動)指標達成度	B	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施	

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか?(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか? A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	C	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか? A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
		事業の方向性	A	理由 学芸調査の成果が企画展や教育普及に結びつくことから、引き続き事業を継続する。

<b>教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査</b>				重点区分	実施区分	拡充
-------------------------------------	--	--	--	------	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑦生涯学習の充実
------------------	------	----------	------	--------------	----	----------

教育振興基本計画 後期計画	分野	3 文化	施策	2 ふるさと教育の充実	取組方針	(1) 子どもから大人までふるさとの自然、歴史や文化の理解を深める学習機会の提供に努めます。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	博物館の利用者数		13,308人	8,426人	13,630人	13,740人	13,850人	
	郷土を愛する心を育む教育に「満足」「やや満足」と回答する一般市民の割合		一般市民 21.7%	一般市民 22.3%	一般市民 26.7%	一般市民 29.2%	一般市民 31.7%	

1 事務事業の内容	事務事業名	博物館体験学習・講座開催事業		担当課	文化財課		実施方法	直営
				事業期間	平成 27 年度 ~ 令和 年度	その他の内容		
	事業の目的	市民へ多様な学習機会の場を提供するため、自然・歴史・民俗・考古・野馬追の各分野に関する体験学習、講座、出前講座等を開催する。						
	見込まれる成果	学校教育や生涯学習への学習機会の提供を行い、市民文化の向上に資する。						

右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載

これまで対応が少なかった低年齢層に対して、幼稚園等のニーズを把握し、未就学児を対象とした幼稚園キャラバン(出前講座)を拡充して取り組む。

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	491	680	900		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源	491	680	900	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	体験学習・講座・出前講座の開催 ・体験学習 16回 ・講座 11回 ・出前講座 34回 ・おでかけみゆーじあむ 14回 実施場所 さゆり幼稚園、原町聖愛こども園、みなみそうまペンギン国際幼児園、おだか認定こども園、大壺幼稚園、北町保育所 ・キッズミュージアム等 3回			
	新型コロナウイルス感染症の影響	B、C	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した		
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)	
		体験学習・講座・出前講座開催回数	62回	78回	

事務事業の成果(活動)指標達成度 A 令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績  
A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施

4 評価	必要性	市民等ニーズ	C	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか?(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか? A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	A	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか? A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
		事業の方向性	A	理由 幼稚園、こども園等からの出前講座の要望が多数あることが初めて把握できたので、効果の有無を判断するため引き続き低年齢層向けの事業に取り組む。

<b>教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査</b>				重点区分		実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	--	------	----

復興総合計画後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策 (3)生涯学習・スポーツ	施策	⑦生涯学習の充実		
--------------	------	----------	-------------------	----	----------	--	--

教育振興基本計画後期計画	分野	3 文化	施策	2 ふるさと教育の充実	取組方針	(1) 子どもから大人までふるさとの自然、歴史や文化の理解を深める学習機会の提供に努めます。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	博物館の利用者数		13,308人	8,426人	13,630人	13,740人	13,850人	
	郷土を愛する心を育む教育に「満足」「やや満足」と回答する一般市民の割合		一般市民 21.7%	一般市民 22.3%	一般市民 26.7%	一般市民 29.2%	一般市民 31.7%	

1 事務事業の内容	事務事業名	博物館管理運営事業		担当課	文化財課		実施方法	直営
	事業の目的	博物館の建物及び設備並びに常設展示品を良好な状態に保ち、各分野の情報を的確に発信できる環境を整え、観覧者に提供するための管理運営を行う。						
	見込まれる成果	展示品等収蔵資料の適切な保存、展示を行うとともに、各分野の情報発信を的確に行うことで、観覧者等への教育普及等サービス提供のための博物館の適切な管理運営ができる。						
右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載								

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	38,352	28,672	29,000		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
その他		1,216	1,451	1,500		
一般財源	37,136	27,221	27,500	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○博物館収集展示委員会(17人)の開催 全体会 書面会議2回、部会 4回</li> <li>○資料調査協力委員会(11人)の開催 書面による調査依頼 1件</li> <li>○「ミュージアム通信」の発行 4回</li> <li>○収蔵庫空調機改修、汚水ポンプ改修、SL階段改修</li> <li>○収蔵品の適切な管理</li> <li>○収蔵施設整備事業に係る民具の整理</li> </ul>		
	新型コロナウイルス感染症の影響	C	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	事務事業の成果(活動)指標達成度	B	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施	

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	C	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
		事業の方向性	B	理由 A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了 建築から26年を経過しているため、施設・設備については、引き続き計画的な修繕や更新を継続する。また、利用者数の増加を図るため、観光との連携など、あらゆる機会をとらえて多方面にわたり方策を検討するとともに、外部に対してはSNSによる情報発信を強化し、利用者の利便性を図る取り組みを行う。

<b>教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査</b>				重点区分		実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	--	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	3 産業・仕事づくり	基本施策	(9) 観光交流	施策	㊸ 交流人口・関係人口の拡大	
------------------	------	------------	------	----------	----	----------------	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	3 文化	施策	2 ふるさと教育の充実	取組方針	(1) 子どもから大人までふるさとの自然、歴史や文化の理解を深める学習機会の提供に努めます。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	博物館の利用者数		13,308人	8,426人	13,630人	13,740人	13,850人	
	郷土を愛する心を育む教育に「満足」「やや満足」と回答する一般市民の割合		一般市民 21.7%	一般市民 22.3%	一般市民 26.7%	一般市民 29.2%	一般市民 31.7%	

1 事務事業の内容	事務事業名	収藏品等展示交流事業	担当課	文化財課	実施方法	直営
	事業の目的	台湾竹山鎮との文化交流を進めるため、相互の歴史文化を紹介する収藏品を展示交流する。				
	見込まれる成果	博物館資料の展示交流により、文化交流の推進を図る。				

右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額	
	事業費(千円)	0	97	200	
	財源内訳	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
一般財源	0	97	200		

3 事務事業の実績	事務事業内容	<p>東京都杉並区と連携を図りながら、台湾竹山鎮との文化交流を推進するため、相馬野馬追や市の歴史文化資料の展示事業に向けた情報収集を行った。</p> <p>* 竹山鎮との交流は、平成29年度から杉並区を介して始まった。</p> <p>事業内容 杉並区を通じてオンラインにより、実施スケジュール等について情報交換を行った。</p> <p>事業スケジュール(見直し後)</p> <p>令和3年度 情報収集 (見直し前)</p> <p>令和4年度 打合せ・現地展示施設下見(台湾訪問) 令和2年度 情報収集</p> <p>令和5年度 初回展示(台湾竹山鎮) 令和3年度 打合せ・現地展示施設下見(台湾訪問)</p> <p>令和4年度 初回展示(台湾竹山鎮)</p> <p>○展示交流事業の内容を構築する。</p> <p>・打合せ、現地展示施設下見</p>		
	新型コロナウイルス感染症の影響	C	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
	展示交流事業計画の構築	1件	0件	
事務事業の成果(活動)指標達成度	D	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績		

A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等)
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？
				A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？

A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化

事業の方向性	B	理由	<p>A 現状のまま継続</p> <p>B 改善しながら継続</p> <p>C 事業規模拡大</p> <p>D 事業規模縮小</p> <p>E 事業廃止・完了</p> <p>本事業は、本市の情報発信や交流人口の拡大に寄与することから、引き続き実施する。コロナ禍の中、相手方との情報交換や共有に当たり、オンラインなどの方法により事業推進を図る。</p>
--------	---	----	---

**教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査**

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑦生涯学習の充実
------------------	------	----------	------	--------------	----	----------

教育振興基本計画 後期計画	分野	3 文化	施策	2 ふるさと教育の充実	取組方針	(2) ふるさとに継承される報徳精神を活かしたまちづくり、ひとつづりを進めるため、報徳仕法の学びの場を充実します。						
	成果指標名	博物館の利用者数	計画策定時 現状値	13,308人	令和3年度 実績値	8,426人	【参考】令和3年度 目標値	13,630人	令和4年度 目標値	13,740人	令和5年度 目標値	13,850人
		郷土を愛する心を育む教育に「満足」「やや満足」と回答する一般市民の割合	一般市民	21.7%	一般市民	22.3%	一般市民	26.7%	一般市民	29.2%	一般市民	31.7%

1 事務事業の内容	事務事業名	報徳精神がいきづくまちづくり事業	担当課	生涯学習課	実施方法	直営
	事業の目的	報徳仕法のいきづく本市において、その教えを時代を超えて継承し、現代的視点で見つめ直して心豊かなまちづくり・ひとつづりを進めるため、報徳仕法に関する学習機会を提供する。				
	見込まれる成果	藩政時代、報徳仕法によりこの地の立て直しや復興に貢献した過去の例に見習い、市民の復興への意欲を享受することができる。				

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額	
	事業費(千円)	4,177	3,928	4,500	
	財源内訳	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他		3,928	4,500
一般財源	4,177	0	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	<p>1. 「報徳仕法」がいきづくまちづくり活動の推進・普及活動</p> <p>(1) 歴史文化講演会の開催（福島民友新聞社主催 共催事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 令和3年11月6日(土)</li> <li>・内 容 二宮尊徳をテーマに講演会、パネルディスカッションを開催</li> <li>・参加者 225人</li> </ul> <p>(2) 報徳仕法ゆかりの市内めぐりリーフレット、副読本概要版作成 各4,000部(市内公共施設及び観光関連施設に配布)</p> <p>(3) 映画「二宮金次郎」の上映</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 令和3年11月7日(日)</li> <li>・参加者 338人</li> </ul> <p>2. 第26回全国報徳サミット掛川市大会(オンライン開催)への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 令和3年11月6日(土)</li> </ul> <p>3. 学校教育との連携による郷土学習「ふるさと教育」の推進</p> <p>(1) 副読本「報徳仕法南相馬市(改訂版)」の配布 500部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①小学校新4年生児童</li> <li>②小中学校転入教諭</li> </ul> <p>(2) 小中学校教育課程による「ふるさと教育」授業の実施 283時間</p> <p>(3) 小学校用教材「報徳仕法」DVD制作</p> <p>4. 各生涯学習センターにおける報徳仕法に関する学級・講座等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報徳講座 参加者 16人 2生涯学習センター/石神、ひがし</li> <li>・高齢者学級、女性学級等による実施 参加者 67人 7生涯学習センター/小高・鹿島・原町・太田・大壺・高平・ひばり</li> </ul>		
	新型コロナウイルス感染症の影響	C	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可	
	事務事業の成果(活動)指標		令和3年度成果(活動)指標名	実績値(令和3年度)
	事務事業の成果(活動)指標達成度	B	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績	

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等)
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？
	有効性	成果指標への影響	C	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？
	事業の方向性	A	理由	二宮尊徳の教えである「報徳仕法」を時代を超えて継承し、「心を育てる報徳精神を学ぶ」機会を小学生から高齢者まで幅広い年代に対し提供している事業であるが、令和3年度においては新型コロナウイルス感染症の影響により一部の事業を実施することができなかった。多くの人に「報徳仕法」に触れる機会を広げるため、新たな視点での講演会の開催、各講座の充実を図り、事業を継続する。

<b>教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査</b>				重点区分	重点	実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	------	----	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	5 地域活動・行財政	基本施策	(14)コミュニティ	施策	④地域コミュニティの活性化	
------------------	------	------------	------	------------	----	---------------	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	3 文化	施策	3 地域文化の継承	取組方針	(1) 民俗芸能や相馬野馬追の継承と活動の活性化に向けた支援、新たな保存伝承の仕組みづくりに取り組みます。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	民俗芸能団体数		62団体	62団体	62団体	62団体	62団体	
								-

1 事務事業の内容	事務事業名	民俗芸能等保存伝承事業		担当課	文化財課		実施方法	直営
	事業の目的	民俗芸能等の伝統行事を保存伝承するため、相馬野馬追にかかわる相馬流山踊等の支援を行う。また、郷土愛の醸成を図るため、民俗芸能発表会を開催する。						
	見込まれる成果	民俗芸能を発表することにより、練習回数が増加するなど地域活動の促進が図られ、魅力的な伝統文化の情報発信をすることで、より多くの民俗芸能の継承を図る。						
右上「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載								

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	1,133	1,970	1,970		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源	1,133	1,970	1,970	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○南相馬市民俗芸能発表会の開催 (9団体 双葉郡内2団体を含む。)※新型コロナの影響で中止</li> <li>○野馬懸保存伝承委員会の開催 委員13人※新型コロナの影響で中止</li> <li>○相馬野馬追保存会負担金</li> <li>○「浜通りのお浜下り」調査</li> </ul>		
	新型コロナウイルス感染症の影響	C	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)
		発表会開催数	1回	0回
事務事業の成果(活動)指標達成度	E	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施		

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
	有効性	成果指標への影響	B	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
	事業の方向性	B	A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了	理由 令和3年度は、新型コロナの影響により、民俗芸能発表会を中止したが、活動の縮小により後継者や担い手が減少傾向にある。伝統文化を後世に継承するためには、地域活動や学校教育と連携した支援の体制を構築する必要がある。

<b>教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査</b>	重点区分	重点	実施区分	継続
-------------------------------------	------	----	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策 (3)生涯学習・スポーツ	施策	⑦生涯学習の充実
------------------	------	----------	-------------------	----	----------

教育振興基本計画 後期計画	分野	3 文化	施策 3 地域文化の継承	取組方針	(1) 民俗芸能や相馬野馬追の継承と活動の活性化に向けた支援、新たな保存伝承の仕組みづくりに取り組みます。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値
	民俗芸能団体数		62団体	62団体	62団体	62団体	62団体
							—

1 事務事業の内容	事務事業名	民俗芸能保存伝承事業補助金	担当課	文化財課	実施方法	補助金
			事業期間	平成 27 年度 ~ 令和 年度	その他の内容	
	事業の目的	伝統芸能活動の伝承のため、相馬流れ山踊り伝承事業に対し、補助金を交付する。				
	見込まれる成果	相馬流れ山踊りを通し、伝統芸能活動の適切な保存伝承が実施されるとともに、地域文化の醸成が図られる。				
	右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載					

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	0	484	484		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源	0	484	484	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	<p>○鹿島区の相馬流れ山踊り保存伝承事業に対する補助 実施主体 相馬流れ山踊り伝承保存会 成果発表 相馬野馬追開催時 ※新型コロナの影響で中止</p> <p>○小高区の相馬流れ山踊り保存伝承事業に対する補助 実施主体 小高郷相馬流れ山踊り保存会 成果発表 野馬懸開催時 ※新型コロナの影響で中止</p>			
	新型コロナウイルス感染症の影響	D	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した		
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)	
		補助金交付件数	2件	0件	
	事務事業の成果(活動)指標達成度	E	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施		

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか？(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている	
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか？ A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他	
	有効性	成果指標への影響	C	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか？ A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化	
	事業の方向性	A	理由	<p>A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 事業規模拡大 D 事業規模縮小 E 事業廃止・完了</p> <p>新型コロナの影響により事業を実施できず、補助金の交付はできなかった。 民俗芸能である相馬流れ山踊りを適切に保存伝承するためには、継続した支援が必要であることから、現状のまま継続する。</p>	

<b>教育振興基本計画後期計画 令和3年度実施事務事業評価調査</b>					重点区分		実施区分	継続
-------------------------------------	--	--	--	--	------	--	------	----

復興総合計画 後期基本計画	政策の柱	1 教育・子育て	基本施策	(3)生涯学習・スポーツ	施策	⑦生涯学習の充実		
------------------	------	----------	------	--------------	----	----------	--	--

教育振興基本計画 後期計画	分野	3 文化	施策	3 地域文化の継承	取組方針	(2) 震災資料を含めた歴史・民俗資料を適切に収集・保存し、学校教育や生涯学習への活用を推進します。		
	成果指標名		計画策定時 現状値	令和3年度 実績値	【参考】令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	
	民俗芸能団体数		62団体	62団体	62団体	62団体	62団体	
								—

1 事務事業の内容	事務事業名	文化財資料収蔵施設整備事業	担当課	文化財課	実施方法	直営
	事業の目的	文化財資料の保管・活用のため、適正な環境のもと一元管理できる収蔵施設を整備する。				
	見込まれる 成果	本市の歴史や文化等に関する資料を適切に保存し後世に伝えることができる。				

右「実施区分」が「拡充」の場合、令和元年度と比較して拡充した内容を記載

2 予算・決算	区分	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度の見込額		
	事業費(千円)	0	0	10,000		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他		0		
一般財源	0	0	10,000	0		

3 事務事業の実績	事務事業内容	令和3年度は、設置場所の検討を行った。		
	事業スケジュール(見直し後)	令和元年度 施設整備スケジュールの策定、施設整備内容及び候補地の検討 令和2年度 施設整備方針の決定 関係課等との協議(既存施設を取得活用の場合) 令和3年度 設置場所の検討(今後の予定) 令和4年度 設置場所の決定、修繕案の検討 令和5年度 整備基本計画の策定 令和6・7年度 施設整備工事(修繕) 令和7年度 資料搬入	(見直し前)	令和3年度 設置場所の決定、修繕案の検討 令和4年度 整備計画の策定 令和5年度 施設整備工事(修繕) 令和6年度 資料搬入
	新型コロナウイルス感染症の影響	A	新型コロナウイルス感染症拡大が市の事業実施に及ぼした影響 ※複数選択可 A 影響なし B 実施時期を変更した C 事業内容の一部を中止した D 事業全体を中止した	
	事務事業の成果(活動)指標	令和3年度成果(活動)指標名	目標値(令和3年度)	実績値(令和3年度)

事務事業の成果(活動)指標	計画策定数	1件	0件
---------------	-------	----	----

事務事業の成果(活動)指標達成度	D	令和3年度の目標値に対する成果(活動)指標の実績 A 計画を上回る B 計画どおり C 計画を下回る D 計画を大きく下回る(50%未満) E 未実施
------------------	---	--

4 評価	必要性	市民等ニーズ	D	事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズに変わりはないか?(市民からの要望等) A 国・県の方針に基づく事業 B ニーズを定量的に把握していない C 高まっている D 変わりはない E 低くなっている
		事業実施主体	A	国・県または民間事業者が市内で同様の事業を行っていないか? A 市のみ実施 B 国・県でも実施 C 民間サービスはあるが供給が不足 D その他
4 評価	有効性	成果指標への影響	D	事業実施により教育振興基本計画後期計画の成果指標が改善されているか? A 直接影響している B 間接的に影響している C 変わらない D 影響しているが社会状況などにより成果指標が悪化
		事業の方向性	B	理由 既存施設の跡地利用により事業の促進を図るものであるが、跡地利用について地域住民の要望等を踏まえて決定するという担当部署の方針により、設置場所の決定に時間を要しており、具体的な整備計画の策定には至らなかった。文化財資料の適切な保管・収蔵を行うことは文化財行政の責務であることから整備実現を目指す。